



TOTTORI



鳥取の伝統工芸品



現代に伝わる
優れた手仕事



販売所
紹介付き♪

TRADITIONAL ARTS & CRAFTS



伝統的工芸品

伝統的工芸品産業の振興に関する法律に基づき百年以上の歴史を有し、産地が形成されている工芸品として経済産業大臣が指定したものの。



鳥取県郷土工(民)芸品

主に日常生活に使われる伝統的な手仕事の技法と伝統的な原材料により製造される工芸品として鳥取県知事が指定したものの。



伝統工芸士

経済産業大臣が指定する伝統的工芸品を製造する技術者のうち、実務経験が十二年以上あり、産地組合の技術及び知識試験に合格し、伝統的工芸品産業振興協会に認定された者。

鳥取県伝統工芸士

鳥取県郷土工(民)芸品を製造する技術者のうち、実務経験が十年以上あり、その高度な伝統的技術・技法を有するものとして鳥取県知事に認定された者。

和紙

因州和紙

いんしゅうわし



1 2 産地組合 鳥取県因州和紙協同組合
<http://inshu-washi.net/inshu-washi.htm>



因州和紙の起源は定かではあ
りませんが、奈良時代の正倉院
文書の中に、因幡の国で抄紙され
たと推測される紙が保存され、
平安時代の「延喜式(えんぎし
き)(九〇五〜九二七年編纂)に
因幡の国から朝廷に紙が献上さ
れたという記録があることから、
一二三〇年と言われる歴史があり
ます。江戸時代には、藩の御用紙
としても庶民の使う紙としても
盛んに生産されました。

明治時代に入ると、海外や他県
から生産技術を導入し、生産性
を向上させ、その勢いは大正末期
まで続きます。

昭和に入り、洋紙の生産力が
上がり、庶民が使用する紙は洋紙
が中心になっていきます。さらに
戦後、コピー機の台頭や生活様式
の変化で、それまでの主力製品で
あった事務用薄葉紙や障子紙等の
需要が激減しました。そこで因州
和紙は新製品として画仙用紙等

の書道用紙と工芸紙、染色紙を開
発、特に手漉きの高級画仙用紙は
日本有数の生産量を誇っています。
書き心地が良く、他の和紙では枚
しか書けないところが二枚書ける
ほど墨の減りが少ないことから
「因州筆切れず」と言われ、全国の
書道家に愛用されています。そして
今、因州和紙は、立体形状の紙や
写真プリント用和紙の開発等、
新製品の開発に力を注いでいます。
因州和紙は常にそれぞれの時代
に合わせ技術を導入し、新商品を
開発しながら産地を維持してきた
のです。



織物・染物

弓浜紺 ゆみはまがすり

江戸時代前期に農家の主婦たちが家族のために仕事着・普段着・布団等を織り始めたのが弓浜紺の起源です。家族の健康と繁栄を祈って織られたため、縁起の良い「鶴亀松竹梅」などがいまも弓浜紺を代表する模様で、その絵柄の素朴さと、ざっくりした風合いに落ち着いた藍染の紺と白のコントラスト、さらに吸湿・保温性に富んだ線素材が大きな特徴です。化学繊維の発達とともに弓浜紺は衰退していきましたが、伝統的な手織りの良さが見直され、現在は着物地だけでなくテーブルセーター、バッグ、髪留めなど新しい

製品が作られています。弓浜紺には、地元で農薬・化学肥料なしで栽培される伯州綿も使われます。伯州綿も江戸時代に砂地でも栽培できる農作物として生産が始まりました。伯州綿は繊維が短く加工が難しいのですが、弾力があって、軽くて暖かいのが特徴です。

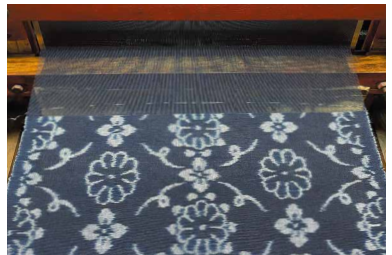


[生産者]
③ 鳥取弓浜 中村括り
☎ 090-5695-9384
米子市上福原738-5

④ ごとう紺店
☎ 0859-21-9063
米子市彦名町4261-1

⑤ 村上紺織物
☎ 0859-28-8385
米子市和田町922

[産地組合]
■ 鳥取県弓浜紺協同組合
☎ 090-5695-9384



倉吉紺 くらよしがすり

倉吉紺の起源は、江戸時代末期といわれています。美術的で精巧な柄を持った絵紺が特徴です。明治時代、船木・桑田工場から出品した紺は、諸外国の万国博覧会で受賞するなど、名声を博しました。現在では、紺の美しさに魅せられた人たちがその技法を学び、受け継いでいます。



7

筒書き つつがき

筒書きは、渋紙の筒にモチ粉などで作った染めを防ぐのりを入れ、筒の先からのりを押し出して布に模様の輪郭を描く技法です。代表的なのが大海旗で、境港や隠岐島等の漁業関係者の需要に応えるほか、暖簾や法被なども制作しています。



[生産者]
■ 松田染物店
☎ 0859-22-3358
米子市紺屋町47



綾綴織 あやつづれおり

倉吉紺を手ほどきに織りを始めた吉田祐氏が、倉吉に伝わる「風通（ふうつう）織・そしき織の伝書」を解説し、多綜統による織物を試みました。さらに他産地の織物を研究する中から編み出した技法をもとに製作しています。

[生産者]
⑥ 倉吉紺保存会
☎ 0858-23-2255
倉吉市東仲町2606(ふるさと工芸館内)

⑦ 吉田たすく手織工房
☎ 0858-22-2989
倉吉市鍛冶町1-2806

大山友禅染 だいせんゆうぜんぞめ

絹や木綿等の天然繊維に伝統技法や現代技法を用い、着物から小物まで制作しています。「色を染めて、布を染めて、心を染めて」をキャッチフレーズに伝統美だけでなく、現代美をも表現できる染色を目指しています。



[生産者]
■ 手描染アトリエカワハラ
☎ 0859-52-3502
西伯郡伯耆町金屋谷1692-19



陶磁器

岩井窯 いわいがま

吉田璋也の民芸運動に影響を受け、陶芸を志し、昭和四十六年に岩井の地に開窯しました。全国への発信を目標に掲げ、北海道から九州まで各地で作品展を開催しています。伝統的な技法を使いながらも常に新しい作品を発表し、現代の生活様式に合う提案をし続けています。



[生産者]
■クラフト館 岩井窯
☎ 0857-73-0339
岩美郡岩美町宇治134-1

延興寺窯 えんこうじがま

昭和五十四年春に開窯しました。地元の陶土・釉薬原料を活用して、手仕事の伝統継承と展開を目標に、日々の生活を潤す作品づくりに取組んでいます。粉灰や黒石（泥岩）を使った独自の釉薬は、用の美を重視した無駄のない造形に深みを与えています。



[生産者]
■延興寺窯
☎ 0857-73-1219
岩美郡岩美町延興寺525-4

浦富焼 うらどめやき

浦富では、江戸の末期から明治維新により廃藩になるまで数十年間、国産奨励の政策のもと出石の陶工を招いて染付の日用雑器が焼かれていました。昭和四十六年に浦富山麓に再び窯を築き、白磁・染付・黒刷毛を主に製作しています。



[生産者]
■浦富焼窯元
☎ 0857-72-0255
岩美郡岩美町浦富3174-3

牛ノ戸焼 うしのとやき

昭和初期に衰退していた牛ノ戸焼を復興させたのは、民芸家の吉田璋也の指導と四代目の努力によるものでした。素朴な民芸調で太く堅牢なところに特色があり、主に日用雑器が焼かれています。



[生産者]
■牛ノ戸焼窯元
☎ 0858-85-0655
鳥取市河原町牛戸185

因州・中井窯 いんしゅうなかいがま

昭和二十年に登り窯を築き、鳥取の民芸家、吉田璋也の指導を受け、日本民芸館展等に多数入選。用と美をテーマに真の民芸品を製作しています。使用する粘土は地元のもので釉薬は、黒釉、緑釉、白釉を主としています。



[生産者]
■因州・中井窯
☎ 0858-85-0239
鳥取市河原町中井243-5

因久山焼 いんきゅうざんやき

江戸時代中期に、鳥取藩主池田侯に招かれた京都の陶工が築窯し、藩の御用窯として茶器などを焼かせたのが始まりといわれています。吉くから伝わる登り窯で焼かれ、わら灰効薬を使い独特の味わいを出しています。



[生産者]
■因久山焼窯元
☎ 0858-72-0278
八頭郡八頭町久能寺649

山根窯

やまねがま

昭和六十年春、青谷町山根の地に開窯しました。蹴りロクロを使い、登り窯にて焼成しています。伝統的な仕事の中に明るく健康な暮らしの器を目指し作り続けています。



【生産者】
■山根窯
☎ 0857-86-0531
鳥取市青谷町山根190-1

国造焼

こくぞうやき

明治二十三年に創業。不入岡の近くには伯耆のみやつこをまつた大將像があり「こくぞうさん」と呼び親しまれていたことから、その名にあやかって昭和五十年に初代が「国造焼」として創始しました。焼締め窯変の花器などのほか、わら灰釉等の釉薬を施した日常のシンプルな造形のうつわを製作しています。



【生産者】
■国造焼
☎ 0858-22-8388
倉吉市不入岡390

福光焼

ふくみつやき

鉄による黒釉（黒化粧）と鉛釉とのコントラストを生かし、高台は深く削り出し、薄手ながらも重厚な作風が特徴です。登り窯にて焼成、出来上がるまでのプロセスを楽しみ、心安らぐ器作りを目指しています。



【生産者】
■福光焼
☎ 0858-28-0605
倉吉市福光800-1

上神焼

かづわやき

この地方では、古くから伯尾山、伯州尾山といった名称で製陶が行われていました。現在の上神焼窯元は、昭和一八年に初代窯主によつて築かれたもので、京風の作りに地方色をとりいれて、伝統と新しい手法で焼成するのが特徴です。



【生産者】
■上神焼窯元
☎ 0858-22-8389
倉吉市不入岡395

大山焼久古窯

だいせんやきくこがま

大正時代に焼かれていた大山焼を再興し、昭和四五年開窯、素朴さと現代感覚をそなえた焼き物を製作しています。鉄釉を主として使用・研究し、変化に富んだ魅力ある陶磁器で、玉鋼耀天目をはじめ、青瓷・油滴・均窯・灰釉等を焼いています。



【生産者】
■大山焼久古窯
☎ 0859-68-2098
伯耆町久古1401

法勝寺焼松花窯

ほつしょうじやきしょうかがま

約二五〇年前、江州（滋賀県）の陶工丈助により製陶が始められたと伝えられています。会見焼と呼ばれた時期もありましたが、この伝統を受け継ぎ、明治三八年に初代が築窯して法勝寺焼を創設。土瓶などに良く表れている焼き上がりの柔らかい特徴です。



【生産者】
■法勝寺焼松花窯
☎ 0859-66-2052
西伯郡南部町落合257

法勝寺焼皆生窯

ほつしょうじやきかいけがま

昭和三六年に、法勝寺焼二代目が松花窯の脇窯として皆生に登り窯を築いたのが始まり。手法、焼成は、法勝寺焼松花窯と同じものですが、皆生の砂、日野川河口の砂鉄を粘土や釉薬の中に混ぜるなどの新しい技法も取り入れて製作が続けられています。



【生産者】
■法勝寺焼皆生窯
☎ 0859-33-2826
米子市皆生温泉2-19-52

漆芸

漆器

かつて県内各地にあった漆塗りの技法を研究し、平成十五年から漆器を製造しています。良質の県内産漆や地元の素材や技術を生かした新しい製品づくりにも挑戦しています。



【生産者】
■會州堂
☎ 0858-75-2228
八頭郡智頭町山根119

木製品

麒麟獅子 きりんじし

江戸時代より、平和を願い舞い継がれている麒麟獅子は、お祭りやお正月に、ところによっては結婚式でも舞われる因幡地方（鳥取県東部）に伝わる独特の伝統芸能です。この貴重な風習が後世に受け継がれるように、獅子頭の復元制作、修理を行い、ミニチュアの置物、壁掛けも製作しています。



【生産者】
■ 矢山彫刻
☎ 080-5234-5416
八頭郡八頭町東677



桐箱 きりばこ

桐の歴史は古く、天平の昔に雅楽面などの歌舞用具に使われていました。家具の発達に伴い、鎌倉時代には鎧櫃・刀剣箱・富裕階層の高級調度品などに使われ、江戸時代に至って大衆に使われるようになりました。桐箱は、収納物を湿気から守り、軽い・狂いがない・燃えにくいなどの特性があるため、現在では、掛け軸箱・茶碗箱・茶道具入・屏風入・花瓶箱・色紙箱などが作られています。



【生産者】
■ 大谷桐工
☎ 0858-72-0558
八頭郡八頭町船岡1827-1

挽物・刳物・指物・松江藩籐細工 ひきもの・くりもの・さしもの まつえはんとうざいく

杉・檜・松・栗・樺・栃・ブナ・槐など古くから使われてきた豊かな材料を求めて昔から往来していた木地師や、城下町に住む武士達の日用調度品を作る御用職人が地道にその伝統技術を伝えてきました。昭和初期の民芸運動以来、時代に合った木工品が盛んに作られるようになり、今も各地にその気風が息づいています。



■ 小林挽物店
☎ 0858-82-1530
八頭郡若桜町若桜67



■ 川口淳平商店
☎ 0859-32-8650
米子市上福原3-8-7



■ ■ 鳥取民芸木工
☎ 0858-28-3037
倉吉市黒見407-1

竹製品

竹細工

弾力性に富み、耐久性に優れている竹は、古くから様々な形に使用されてきました。鳥取県の竹細工は主に庶民の生活に密着した日常道具として発展しました。近年は民芸としての素朴な美しさが注目されています。



【生産者】
■ 仁人竹工房
☎ 0857-29-4392
鳥取市末広温泉町114

淀江傘

淀江傘の起源は江戸時代文政四年と言われています。番傘、蛇の目傘など実用に富み丈夫なことで知られ、蛇の目の形（亀甲、梅型）や特有の糸飾りに特色があります。



【生産者】
■ 淀江傘伝承の会
☎ 0859-56-6176
米子市淀江町淀江796

因幡の踊り傘

因幡の踊り傘は、江戸末期から伝わる雨乞い踊りに剣舞の型を取り入れた勇壮な振り付けをした無形文化財「因幡の傘踊」に使用される傘です。現在では、粘りがあり、より耐久性のある真竹と丈夫な因幡和紙を使用し、骨の割りを大きくするなど、強さ、耐久性を主眼に製作しています。



【生産者】
■ 竹扇堂
☎ 0857-29-8284
鳥取市行徳2-432

その他

鹿野すげ笠

鹿野すげ笠の起源は、約四〇〇年前、鹿野城主亀井茲矩が農村振興の一助に、副業として奨励したことに始まるとされています。昭和の半ばまで、田畑での農作業用笠として晴雨によらず使用された必需品でした。菅は、軽く、晴れた日は乾燥して縮んで通気性が良くなり、雨の日は湿気で膨らむため、笠の目が詰まり雨を通さないという利点があります。



【生産者】
■ 鹿野すげ笠を守る会
☎ 0857-84-2720
鳥坂市鹿野町鹿野1381

和太鼓

江戸時代から二〇〇余年にわたり伝統と技を受け継がれてきた和太鼓は、胴となるケヤキ、牛皮のなめし、そして熟練された技が三位一体となつて生れます。精魂込めて作り上げた太鼓の一つ一つに魂が宿り、その鼓動が迫力ある響きとなって感動を伝えます。



【生産者】
■ 大柄太鼓店
☎ 0859-82-0362
日野郡日商町三栄1766

出雲石灯ろう

起源は奈良、平安時代といわれ江戸時代に盛んになりました。石材に來待石（きまちいし）という粒子の細かい軟質の砂岩を使用しており、色彩もよく、早く苔による古色を帯びてきます。また、耐熱耐寒性に優れ、風化しにくい上に加工しやすいという長所があります。



【生産者】
■ 富永石材店
☎ 0859-42-6328
境港市外江町2025-1

【産地組合】
■ 鳥取県出雲石灯ろう協同組合
☎ 0859-42-6328
境港市外江町2025-1

郷土玩具



【生産者】
 因州若桜焼
 ☎ 0858-82-1217
 八頭郡若桜町若桜1173

土鈴の歴史は縄文時代とされます。魔除けの力を持つといわれ、祭礼用に用いられてきたようです。現在では、歴史や祭礼縁起など地域にちなんだ土鈴や、干支の土鈴などを手作りで製作し、地域の情報発信にも役立っています。

木彫人形十二支

約二〇〇年前、木地師小椋佐兵衛が、挽物を製作したのが始まりです。その流れをくむ小椋家七代目により、従来の挽物に独創的なデザインと技術を加えて木彫人形十二支が製作されました。全体を挽物細工で作り、泥絵具で彩色したもので、素朴な中にも斬新な趣があります。



【生産者】
 おぐら屋
 ☎ 0857-72-0520
 岩美郡岩美町岩井319

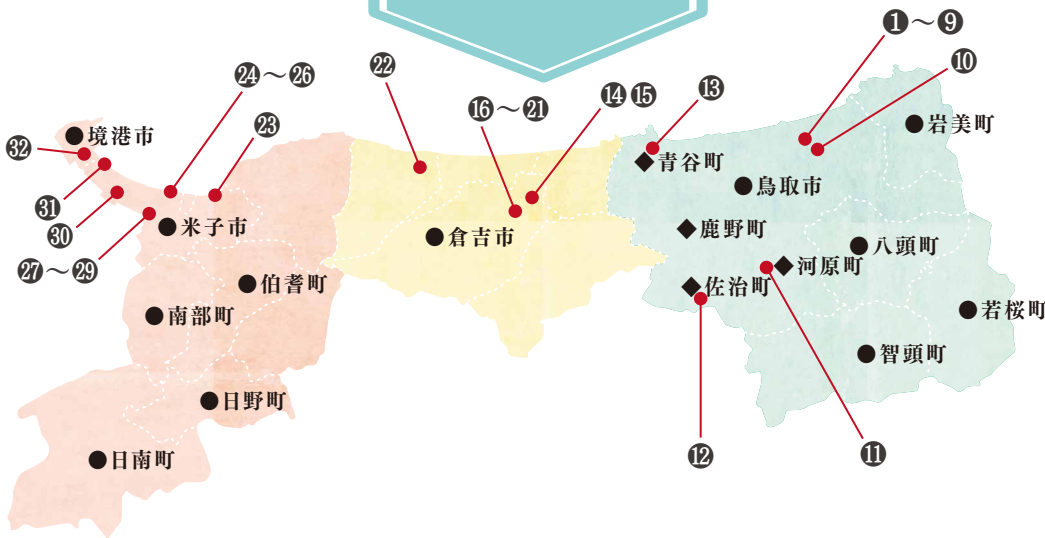
【生産者】
 はこた人形工房
 ☎ 090-1185-9732
 倉吉市魚町2529



はこた人形

江戸時代に備後の国から行商にきた備後屋治兵衛が、倉吉の素朴でつましやかな娘に惹かれ、これを人形にしたといわれています。桐の木型に和紙を張り、重ね、張り子を型から抜き取り、胡粉で下地を塗り、泥絵具で彩色し、にかわでつや出をした張り子細工です。

伝統工芸品 マップと 手仕事品 販売所紹介



- | | | | | | |
|------------------------------------|--|---|--|---|--|
| ● 境港市
・ 弓浜餅
・ 出雲石灯ろう* | ● 米子市
・ 弓浜餅
・ 筒書き
・ 法勝寺焼
皆生窯
・ 淀江傘
・ 松江藩簾細工 | ● 倉吉市
・ 倉吉餅
・ 綾綴織
・ 福光焼
・ 上神焼
・ 国造焼
・ はこた人形*
・ 竹細工
・ 刳物・指物 | ● 鳥取市
・ 麒麟獅子
・ 竹細工
・ 因幡の踊り傘
・ 流しびな* | ◆ 鹿野町
・ 鹿野すげ笠* | ● 八頭町
・ 因久山焼
・ 桐箱
・ 麒麟獅子 |
| ● 南部町
・ 法勝寺焼
松花窯 | ● 日野町
・ 刳物・挽物 | ● 伯耆町
・ 大山友禅染
・ 大山焼久古窯 | ◆ 河原町
・ 牛ノ戸焼
・ 因州・中井窯 | ◆ 青谷町
・ 因州和紙
・ 山根窯 | ● 若桜町
・ 挽物
・ 土鈴
・ 鍛冶製品* |
| ● 日南町
・ 和太鼓 | | | ◆ 佐治町
・ 因州和紙 | ● 岩美町
・ 岩井窯
・ 延興寺窯
・ 浦富焼
・ 木彫人形
十二支 | ● 智頭町
・ 漆器 |

【*】は現在のところ伝統工芸士不在だが、保存会などにより生産されている。

「倉吉の郷土玩具
“はこた人形”を製造・販売」



【品目】
郷土玩具

【体験】
はこた人形の
顔描き体験
ができます。

16 はこた人形工房

倉吉市魚町2529
☎ 090-1185-9732
🕒 10時～17時
📅 水曜



「因州和紙製品を販売」



【品目】
和紙

【体験】
紙漉き体験
もできます。
ランブ作り
も人気。

13 あおや和紙工房

鳥取市青谷町山根313
☎ 0857-86-6060
🕒 9時～17時
📅 月曜(祝日の場合翌平日休)



「山陰の窯元の
陶磁器を販売」



【品目】
陶磁器

10 器屋 うらの

鳥取市雲山173
☎ 0857-21-1616
🕒 10時～17時
📅 不定休



「ホテル内の伝統工芸品
販売コーナー」



【品目】
和紙
郷土玩具
木工

7 ホテルニューオータニ

鳥取市今町2-153
☎ 0857-23-1111
🕒 8時～20時



「各種お土産販売から
観光案内も」



【品目】
陶器
木工
和紙
染織物
郷土玩具

4 鳥取市ふるさと物産館

鳥取市末広温泉町160
☎ 0857-36-3767
🕒 9時～19時
📅 年末年始



「博物館内の民工芸品
販売コーナー」



【品目】
郷土玩具
染織物
和紙
木工

1 鳥取県立博物館
ミュージアムショップコーナー

鳥取市東町2-124
☎ 0857-27-9520
🕒 9時～17時
📅 月曜不定休



「自作の吹きガラスを販売」



【品目】
ガラス

17 saon

倉吉市魚町2521-1F
☎ 0858-38-9023
🕒 10時～18時
📅 火曜



「倉吉駅併設
食品の品揃えも豊富」



【品目】
陶磁器
郷土玩具
和紙
染織物

14 駅ヨコプラザ
くらよし

倉吉市上井195-12
☎ 0858-24-5333
🕒 7時半～19時半



「鳥取県東部の
民工芸品を販売」



【品目】
陶磁器
木工
和紙
郷土玩具

11 道の駅
清流茶屋かわはら

鳥取市河原町高福837
☎ 0858-85-6205
🕒 9時～19時(3～11月)



「創業60年を超える
竹製品の老舗」



【品目】
竹工
木工
陶磁器
染織物
郷土玩具
和紙

8 竹豊工芸

鳥取市東品治町113
☎ 0857-22-3295
🕒 10時～16時
📅 月曜



「吉田璋也の開いた
民芸品店」



【品目】
陶磁器
和紙
染織物
郷土玩具
木工

5 たくみ工芸店

鳥取市栄町651
☎ 0857-26-2367
🕒 10時～18時
📅 水曜



「鳥取県の主な
民工芸品がそろいます」



【品目】
和紙
陶磁器
染織物
郷土玩具
木工
竹工

2 城下町とっとり交流館
高砂屋

鳥取市元大工町1
☎ 0857-29-9024
🕒 9時～17時
📅 月曜(祝日の場合翌平日休)



「山陰の民工芸品に
ふれるならこちら」



【品目】
陶磁器
郷土玩具
木工・竹工
和紙
ガラス
鍛冶

18 COCOROSTORE

倉吉市魚町2516
☎ 0858-22-3526
🕒 10時～18時
📅 月火曜、日曜(不定休)



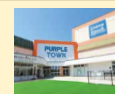
「中部の工芸品を
楽しむならこちら」



【品目】
陶磁器

15 パープルタウン
RodznakKitchen

倉吉市山根557-1
☎ 0858-48-1171
🕒 10時～19時



「佐治地区の
因州和紙ならここ」



【品目】
和紙

【体験】
紙漉き体験
もできます。
うちわ作り
も人気。

12 和紙工房
かみんぐさじ

鳥取市佐治町福園146-4
☎ 0858-89-1816
🕒 9時～16時半
📅 水曜



「オリジナル商品も含む
工芸品を幅広く販売」



【品目】
陶磁器
郷土玩具

9 くらしのいろいろ
アムズ

鳥取市行徳1-155
☎ 0857-22-0505
🕒 10時～19時
📅 年中無休(1月1日は休業)



「若手作家の
手仕事を幅広く紹介」



【品目】
陶磁器
木工
和紙
ガラス
染織物
ほか

6 ギャラリーショップ
SORA

鳥取市栄町658-3
☎ 0857-29-1622
🕒 11時～17時
📅 水曜



「浦富焼ならここ
各種体験教室も」



【品目】
陶磁器
染織物
竹工
木工
ガラス

3 工芸集
つれ

鳥取市川端1-104
☎ 0857-26-6156
🕒 10時半～17時半
📅 木曜



「山陰の窯元の陶磁器を販売」

32 永見呉服店

境港市小篠津町1136
☎ 0859-45-0338
🕒 9時半～18時半
🗓 木曜

【品目】
染織物




「博物館内での弓浜絋販売」

31 山陰伯耆国 米子アジア博物館

米子市大篠津町57
☎ 0859-25-1251
🕒 9時～16時半
🗓 月曜(祝祭日の場合翌日)

【品目】
染織物




「歴史ある洋館内での工芸品販売」

28 米子市立山陰歴史館

米子市中町20
☎ 0859-22-7161
🕒 9時半～18時(入館17時半)
🗓 火曜(その他休日WEB参照)

【品目】
和紙
染織物
郷土玩具
陶磁器など




「山陰のいいものセレクトショップ」

25 今井書店 本の学校内しまとり

米子市新開2-3-10
☎ 0859-21-4050
🕒 9時～21時

【品目】
陶磁器など




「こだわりセレクトの工芸品を展示販売」

22 ごろねこ民芸庵

東伯郡琴浦町三保144
☎ —
🕒 11時～17時
🗓 火～木曜

【品目】
陶磁器
染織物




「様々な種類の竹製品を販売」

19 赤瓦三号館 中野竹藝

倉吉市東仲町2573
☎ 0858-23-7500
🕒 9時～17時
🗓 不定休

【品目】
竹工




鳥取県へのアクセス

🚗【自動車】

	鳥取	倉吉	米子
東京	8時間	8時間40分	8時間40分
大阪	2時間30分	3時間20分	3時間20分
岡山	2時間30分	3時間	2時間
広島	4時間	3時間20分	3時間
福岡	7時間10分	6時間40分	6時間

🚆【列車】

方面	鳥取	米子
東京・名古屋・京阪神方面	大阪～鳥取 約2時間20分 智頭急行「特急スーパーはくと」	岡山～米子 約2時間 智頭線「特急スーパーいなば」
九州・山陽方面	岡山～鳥取 約1時間40分 智頭線・因美線「特急スーパーいなば」	岡山～米子 約2時間 伯備線「特急やくも」

✈️【飛行機】

東京(羽田空港) ～ 全日空(ANA) ～ 鳥取砂丘コナン空港 — 1時間15分

東京(羽田空港) ～ 全日空(ANA) ～ 米子鬼太郎空港 — 1時間20分

* 発着時刻、運行状況等は航空会社HPなどでご確認ください。
* 鳥取砂丘コナン空港～鳥取駅(約20分)、米子鬼太郎空港～米子駅(約30分)に連絡バスがあります。

「こだわりセレクト 山陰の美しい器」

29 C・N・oir セノワール

米子市尾高町73
☎ 0859-22-4341
🕒 平日10時～19時
土日祝12時～19時 🗓 不定休

【品目】
陶磁器




「弓浜絋の製造 直売店で種類豊富」

30 ごとう絋店

米子市彦名町4261-1
☎ 0859-21-9063
🕒 訪問時要連絡

【品目】
染織物




「弓浜絋、陶磁器、木工を販売」

26 米子天満屋 3階紳士服売場 とりくもびいきコーナー

米子市西福原2-1-10
☎ 0859-35-1251
🕒 10時～19時半

【品目】
陶磁器
染織物




「鳥取・鳥根の手仕事 作家作品を販売」

27 JU米子高島屋 4階 ギャラリーE・N

米子市角盤町1-30
☎ 0859-22-1111
🕒 10時～18時

【品目】
陶磁器
郷土玩具
染織物
木工など




「淀江傘の生産拠点」

23 淀江和傘伝承館

米子市淀江町淀江796
☎ 0859-56-6176
🕒 9時～17時
🗓 日・祝・月曜

【品目】
和傘
体験
見学・体験ご希望はお電話ください。




「KAIKEテラス内の伝統工芸体験型施設」

24 結 Musubi

米子市皆生温泉4-22-33
☎ 0859-21-3131
🕒 各日営業時間WEB参照
🗓 水・木曜

【品目】
陶磁器
和傘
和紙
染織物




「ギャラリー・展示スペースもあり」

20 民芸TAKAKI (土蔵そば)

倉吉市新町1-2429-5
☎ 0858-23-1821
🕒 10時～17時
🗓 木曜

【品目】
陶磁器
郷土玩具
和紙
うちたての手打ち蕎麦も味わえる。




「店内には貴重な織り機の展示も」

21 倉吉ふるさと工芸館

倉吉市東仲町2606
☎ 0858-23-2255
🕒 9時～17時
🗓 水曜・年末年始

【品目】
染織物
陶磁器






経済産業大臣指定 伝統的工芸品・伝統工芸士

因州和紙 (昭和五十年指定伝統的工芸品)

鳥取県因州和紙協同組合

長谷川 憲人

中原 剛

中原 寛治

弓浜緋

(昭和五十年指定伝統的工芸品)

鳥取県弓浜緋協同組合

渡辺 千代枝

村上 一枝

青砥 明子

中村 武志

出雲石灯ろう

(昭和五十二年指定伝統的工芸品)

鳥取県石灯ろう協同組合



鳥取県指定鳥取県郷土工芸品 鳥取県伝統工芸士

陶磁器

岩井窯

因久山焼

因州・中井窯

牛ノ戸焼

浦富焼

延興寺窯

山根窯

上神焼

国造焼

福光焼

大山焼久古窯

法勝寺焼皆生窯

法勝寺焼松花窯

法勝寺焼松花窯

漆芸

漆器

橋谷田 岩男

織物・染物

倉吉緋

綾綴織
筒書き

大山友禪染

郷土玩具

木彫十二支

土鈴

竹製品

竹細工

因幡の踊り傘

淀江傘

木製品

挽物

挽物・指物

挽物・削物

桐箱

麒麟獅子

松江藩藤細工

和太鼓

福井 貞子

牧 幸子

吉田 公之介

松田 広海

松田 成樹

川原 榮次

小椋 愛子

大坪 英治

小橋 元

中嶋 正義

齋江 範人

株本 覚

山本 絵美子

小林 義實

福田 豊

西村 孝美

大谷 耕美

矢山 裕二

川口 淳平

大柄 盤治

大柄 重人



とっとりの手仕事 HP
www.pref.tottori.lg.jp/teshigoto



tottori_teshigoto

お問い合わせ先

鳥取県販路拡大・輸出促進課
(一社)鳥取県物産協会
鳥取県東京本部
鳥取県関西本部
ふるさと鳥取県産業・観光センター

鳥取市東町1-220
鳥取市末広温泉町160
東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館10階
大阪市北区梅田1-1-3-2200 大阪駅前第3ビル22階
名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル5階

☎ 0857-26-7828
☎ 0857-29-0021
☎ 03-5212-9077
☎ 06-6341-3955
☎ 052-262-5411